



answer

## 高校生の娘の男女交際について

### 今どきの親は応援するものなのですか？

先に人生を歩んできたから、見えるものがあるのではないのでしょうか。高校時代は人生の選択をする時期ですから、親の考えを伝えればよいと思います。

#### ■「譲れないわい」

最近では親子の価値観が近く、横並びの親子関係と言われたりします。そこで「応援したい」となるのかもしれないね。

でも「応援する気はない」という親御さんもいて、「恋愛をするには未熟すぎる」「高校生は勉強や部活動に専念してほしい」などというのも当然です。「譲れないこと」「これだけはだめ」な

## Question 2

保護者対象の高校PTAのアンケートで、「子供の男女交際を応援したい」と答えた親が6割以上いました。私は先日、娘の行動を心

配して釘をさしたばかりなので、物分りのいい親が多いのに驚きました。私の考えが古いのでしょうか。  
(50代前半・母親)

ことは、日頃から伝えておきましょう。  
お母さんが娘さんに話せる関係にあるのはよいことです。子供に気を使って、当たり障りなくやり過ぎすと、心の距離が開いていきます。なかには「避妊をしているか心配だけど、どう口を出していいかわからない」といった深刻な場合もありました。

子供も、何でも許されるより、親による「柔らかい壁」を必要としています。その際、一方的にならないよう、「あなたはどう思う」と尋ねてみましょう。いま何を優先させたらよいか、将来につながる大切な時期のプラ

イオリティ（優先順位）を子供に考えさせるのです。

#### ■家庭の空気つくるのは

子供にとって男女交際の身近なモデルは両親です。親は子供にしつかり観察されています。親が「譲れないこと」は、言葉で語る以上に、そうした「雰囲気」が家庭で醸し出されていることが大切です。何をすれば親が悲しむかを認識でき、「親に知られなければいい」と思わせない親子関係が大切です。

女の子の場合は、父親との良好な関係が幸福感に影響するとされます。また、同性の母親は心配が高じて口論になりやすく、親が謝るべきは謝ると子供も素直になれます。何でも言える関係づくりを心掛けたいものです。